

H25.11.8

【諮問事項】

河川構造物等における津波対策の技術的検討について

- ① 津波時の防潮施設の操作に伴う津波挙動の把握について
- ② 防潮施設の津波に対する耐力の評価と想定される二次災害について
- ③ 南海トラフ巨大地震に備えた西大阪地区の津波対策について

H25.3.15 中間答申

- ・三大水門の閉鎖は、津波遡上を抑制し、浸水被害の軽減に有効
- ・三大水門は、津波により損傷し開閉できない可能性有。
- ・水門閉鎖による反射波の影響は引き続き検討。
- ・水門の損傷により、洪水や高潮のリスクが増大。
- ・損傷した三大水門の補強は困難。
- ・南海トラフ巨大地震に対しての津波防災計画を作成すべき。

【今後の西大阪地区の津波対策の進め方】

三大水門を閉鎖し、津波遡上を防ぐ。

⇒ 閉鎖に伴い、水門の「上流」と「下流」で発生する悪影響への対策について、検討を進める。

《課題》

洪水・高潮によるリスク

水門反射波リスク

水門の損傷
(機能不全)

【現在の把握状況】

- ◆水門損傷による洪水リスク
- ◆水門撤去による高潮リスク

【現在の把握状況】

- ◆L2津波の際、津波反射により堤防を越波すること。
(堤防が健全な場合)

【現在の把握状況】

- ◆L1津波で開閉困難
- ◆L2津波で流失しない

《目標》

洪水・高潮リスクの最小化

水門反射波への対応方針決定

津波対応可能な水門

【現有施設での暫定対応策検討】

【現有施設での対応策検討】

【現有施設での暫定対応策検討】

《平成25年度 第1回》

- ・水門損傷時における洪水、高潮シミュレーション結果
- ・浸水被害比較

【次回以降】

様々な条件下における反射波の発生状況の把握

《平成25年度 第1回》

- ・中小水門の津波耐力検討
- ・余震津波等に対する耐力検討

南海トラフ巨大地震に対する暫定的対応及び水門、防潮堤の恒久対策を審議

土木構造物
耐震対策検討部会

《課題》

南海トラフ巨大地震による地震、津波による土木構造物への影響

- ・土木構造物の点検
(水門、防潮堤等)
- ◆ 揺れ
- ◆ 液状化
- ◆ 津波の影響

- 点検結果に基づく
- ◆ 対策の重点化
- ◆ 優先順位の考え方

西大阪地区の津波対策計画の策定(H26. 夏頃)